# 一般社団法人 優良家庭犬普及協会 Good Citizen Test Regulation

合否判定の基準 2021 年コロナ感染対策ルール【該当項目抜粋】

※試験会場内では、ジャッジ・スタッフ・受験者ともに、マスク着用のこと

#### 「テスト項目〕

### 2. 飼い主が他人に挨拶をする間、座って待つ

Sit while Owner Greets Friendly Stranger

判定員:「項目2」を告げる。受験者をスタートラインにつかせ、用意ができたか聞く

飼い主:「はい」(この時点から判定が始まるので、犬は座り続けていなければならない)もしくは「待って下さい」

判定員:「他人」に合図する

「他人」:犬は無視する。<mark>飼い主から2m程度</mark>のところの正面に立ち、おじぎをしてから一言二言挨拶をする

飼い主:お辞儀をして挨拶を返す。この間犬は座っていなければならない

「他人」:犬に背を向け、来た道を戻る

判定員:「終わり」を告げる

「はい」の後、号令(声符・視符・補助)は3回までとする



#### 3. 座って他人に触れられる

Sit & Accept Petting by Stranger

判定員:項目を告げ、用意ができたか聞く

飼い主:「はい」(この時点から判定が始まるので、

犬は座り続けていなければならない)もしくは「待って下さい」

判定員:「他人」に合図をする

「他人」:<mark>飼い主から2m程度</mark>のところの正面で止まり、犬に触れても良いか飼い主に聞く

飼い主:「どうぞ」もしくは「待って下さい」(この場合でも、 犬はずっと座り続けていなければならない)

ここで飼い主は、補助手段や追加的号令を用いても良い(制限範囲内で)

一回以上「まて」と言えば、その都度個別の号令として数えられる

「他人」:正面から犬に近づく

手を出して匂いを嗅がせる

目線を合わせる

上から犬の頭に手を伸ばす 頭部と肩を軽く触る(3秒)

犬の後ろへ抜けて立ち去る(50cm 以内)

判定員:「終わり」を告げる

「はい」の後、号令(声符・視符・補助)は3回までとする





#### 11. 他の犬とのすれ違い

Reaction To Another Dog (On Leash)

判定員:スタートラインを示す

飼い主:犬を座らせる

判定員:用意ができたか聞く

飼い主:「はい」もしくは「いいえ」

判定員:歩く指示を出す

飼い主:指定された所を歩き終わったら、

向きを変え(来た方を向く)犬を座らせる

判定員:「終わり」を告げる

スタート後の号令(声符・視符・補助)は5回までとする



他の犬とハンドラーは**最低5~6m**離れた所から歩いてくる

犬を外側にして、人間同士約 50cmの幅を歩く。途中、受験者とハンドラ―は、対角線上に約2mの距離(ジャッジ判断で決 **める)を取って一時停止し、**犬を座らせ、おじぎ(挨拶)をする。

犬は他の犬に対して、「多少気に留める」程度の関心を示すにとどまらなければならない

判定基準はテスト4とほぼ同じである。

#### 13. 食事中テーブルの下で待つ

10-min Down Under Chair/Table While Owner Eats

判定員:(もしくは助手)が所定の場所を示す

飼い主:食事の場所へは、指示が出てから入る。犬を落ち着かせるために、ある程度

時間をかけても良い(約30秒)

判定員:用意ができたか聞く

飼い主:「はい」もしくは「いいえ」

判定員:判定員の判断で、テストをスタートする

受験者は、受験者同士が対角線上に2m以上の距離を取って座る、もしくは対面せず

横並びに同方向で座る(会場毎にジャッジ判断で配置を決める)。

受験者は持参した食事の封を開けるが、マスクを外しての実際の食事はしない。

マスクをしたまま、箸やフォーク、スプーンを使って食べ物を口に運ぶ動作をする。

動作は、普段の食事を想定して、常識内の回数を行う(ジャッジからも動作の指摘をする場合がある)。

食事時間の途中で、店員に扮したテストスタッフが、注文確認のため近付いて話しかける。

10 分間たったら「終わり」を告げる



※優良家庭犬®は優良家庭犬普及協会の登録商標です



## 愛犬を社会の一員にするために 一般社団法人 優良家庭犬普及協会

〒193-0813 東京都八王子市四谷町 1917-36 コーポ中平 201

電話:042-626-2226 / FAX:042-626-2227

http://www.cgcjp.net info@cgcjp.net

